

投資環境と組み入れ状況について

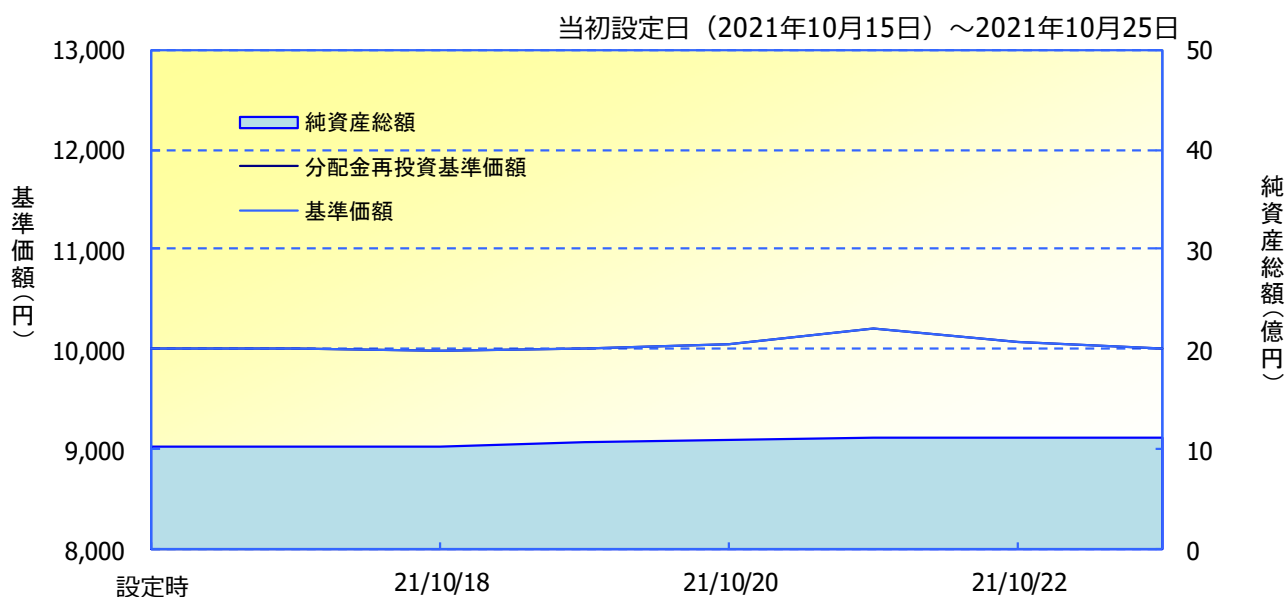
2021年11月1日

平素は「ダイワ／バリュー・パートナーズ チャイナ・カーボン・ニュートラル・フォーカス」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。当ファンドの2021年10月22日時点（現地）の組み入れ状況について、お伝えいたします。

■ 基準価額・純資産の推移

2021年10月25日現在

基準価額	10,019 円
純資産総額	11億円



※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。
※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

運用概況

当ファンドにおいては、10月15日のファンド設定日以降、投資対象とする外国投資証券（投資対象ファンド）の買い付けを実施し、速やかに投資割合を高位に引き上げました。

投資対象ファンドにおいては、7月以降の市場の下落を背景に株式の割安感が強まっていたことから、設定後速やかに株式組入比率を引き上げました。10月22日時点のポートフォリオは、再生可能エネルギー、EV（電気自動車）、エネルギー貯蔵関連銘柄を中心に、99.3%の組入比率となっています。

《組入ファンドの資産別構成》

※比率は、組入ファンドの純資産総額に対するものです。

バリュー・パートナーズ・チャイナ・カーボン・ニュートラルティ・ファンド・エスピー(クラスZ)		
資産	銘柄数	比率
株式	30	99.3%
現金等	---	0.7%
合計	30	100.0%

※組入ファンドの資産別構成は、バリュー・パートナーズ香港リミテッドの提供するデータを基に大和アセットマネジメントが作成したものです。

※上記データは、10月22日時点（現地）のデータを記載しています。

※上記データは、四捨五入の関係で合計の数値と一致しない場合があります。

《バリュー・パートナーズ・チャイナ・カーボン・ニュートラルティ・ファンド・エスピー(クラスZ)の資産構成》

※比率は組入ファンドの純資産総額に対するものです。

※以下の資産構成は、バリュー・パートナーズ香港リミテッドの提供するデータを基に大和アセットマネジメントが作成したものです。

業種別構成		合計100.0%	市場別構成		合計100.0%	通貨別構成		合計100.0%
業種名	比率		市場名	比率		通貨名	比率	
資本財・サービス	39.2%		深センA株市場	41.3%		中国・人民元	70.3%	
情報技術	18.4%		上海A株市場	29.1%		香港ドル	26.0%	
公共事業	17.5%		香港市場	26.0%		米ドル	3.0%	
一般消費財・サービス	15.0%		米国市場	3.0%		日本円	0.7%	
素材	9.2%		現金等	0.7%				
現金等	0.7%							

組入上位10銘柄

合計48.1%

銘柄名	市場名	業種名	比率
フーヤオ・ガラス・インダストリー・グループ	香港市場	一般消費財・サービス	5.2%
フアン・ランツァンリバー・ハイドロパワー	上海A株市場	公共事業	4.9%
コンテンポラリー・アンベレックス・テクノロジー	深センA株市場	資本財・サービス	4.9%
ルオヤン・シンチアンリエン・スレーイング・ベアリング	深センA株市場	資本財・サービス	4.9%
チャイナ・ロンユアン・パワー・グループ	香港市場	公共事業	4.8%
チャイナ・ヤンツェ・パワー	上海A株市場	公共事業	4.8%
ナリ・テクノロジー	上海A株市場	資本財・サービス	4.7%
サングロー・パワー・サブライ	深センA株市場	資本財・サービス	4.7%
ロンジー・グリーン・エネルギー・テクノロジー	上海A株市場	情報技術	4.7%
ゼアー・ジャン・サンホワ・インテリジェント・コントロールズ	深センA株市場	資本財・サービス	4.5%

※業種名は、原則としてS&PとMSCI Inc.が共同で作成した世界産業分類基準(GICS)によるものです。

※市場名は、バリュー・パートナーズ香港リミテッドの分類によるものです。

※上記データは、10月22日時点（現地）のデータを記載しています。

※上記データは、四捨五入の関係で合計の数値と一致しない場合があります。

※上記は組入銘柄の一部を紹介するものであり、個別銘柄の推奨を目的としたものではありません。

※同一企業でも別市場に上場している場合は、別の銘柄として扱います。

※上記は、バリュー・パートナーズ香港リミテッドが提供するコメント等を基に大和アセットマネジメントが作成したものです。

市場環境

中国株式市場は当該期間（10月15日～10月22日）、中国A株市場の代表的な指数であるCSI300指数、香港株式市場の代表的な指数であるハンセン指数はともに上昇しました。

中国A株市場は、9月の主要経済指標が生産・投資関連を中心に予想を下回る伸び率であったことなどから景気減速懸念が強まったものの、根強い金融緩和期待などが下支えとなりました。香港株式市場は、アリババ創業者のジャック・マー氏が約1年ぶりに海外出張を行っているという報道などから中国当局による規制強化懸念が後退し、アリババ株などが上昇をけん引しました。

市場展望

電力不足や供給制約が生産部門の打撃になったことに加えて、新型コロナウイルス感染拡大が消費を圧迫しており、今後経済対策が打ち出されるかどうか注目しています。

恒大集団の資金繰りに関しては、10月23日に米ドル建て社債の利払いを実行したと中国メディアが報じており、デフォルト（債務不履行）の危機は一旦回避する形となりました。恒大集団の巨額債務問題が実体経済にある程度の悪影響をもたらすものの、中国経済の減速を招くことはないと考えています。

中国政府は、先端製造業の育成や脱炭素の促進などを通して質の高い発展を目指しています。今回の不動産企業に関連した資金繰りの問題が、不動産セクターへの依存を引き下げ、長期的に質の高い経済発展モデルを再構築するきっかけになる可能性があると考えています。

※上記は、バリュー・パートナーズ香港リミテッドが提供するコメント等を基に大和アセットマネジメントが作成したものです。

運用方針

公害問題は、中国の持続的な経済発展にとって大きなテーマとなっています。持続可能な経済成長が実現できるよう、経済成長モデルを転換させ、低炭素関連産業を発展させることが政策として重要視されるようになりました。

EV（電気自動車）、再生可能エネルギーなどの分野において中国は既に世界有数の国となっており、EVの販売台数、再生可能エネルギーの発電能力ともに、世界をリードしています。また、太陽光パネル、風力タービン、電気自動車のバッテリーなどの製造分野で高い競争力を有しており、関連企業は中国国内のみならず、海外でのシェアの拡大が期待されます。

当ファンドでは、中国の国策が「追い風」となるセクターに注目しています。現在は、再生可能エネルギーを作り出す企業、それに関連するコア技術を有する企業や部品メーカーなどに着眼し、投資を行っています。

足元では、「独占禁止」、「データ管理」、「共同富裕」に関連して規制への懸念から中国株市場は調整傾向にあります。優良銘柄を安く組み入れるチャンスだと捉えています。

脱炭素関連の注目ニュース

カーボンニュートラルへの取り組み方針発表(10/24)

中国共産党中央委員会と国務院は10月24日、2030年までのカーボンピークアウトと2060年までのカーボンニュートラルの実現に向けた取り組み策などを発表しました。具体的な数値を開示するなど中国政府の本気度が改めて感じ取れるものであり、カーボンニュートラルの目標達成に向けて、関連セクターに今後多くの財源が投じられると予測しています。

発表された主な数値目標

- 2020年時点で約16%だった非化石燃料の消費割合を2025年に約20%、2030年に約25%、2060年に80%以上にする。
- 2025年までに、単位GDP当たりのエネルギー消費量と二酸化炭素（CO₂）排出量を2020年比でそれぞれ13.5%、18%引き下げ。
- 2030年までに、単位GDP当たりのCO₂排出量を2005年比で65%以上引き下げ、風力と太陽光発電の設備容量を12億kW以上にする。

※上記は、バリュー・パートナーズ香港リミテッドが提供するコメント等を基に大和アセットマネジメントが作成したものです。

I ファンドの目的・特色

ファンドの目的

中国のカーボンニュートラル関連企業の株式に投資することにより、信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

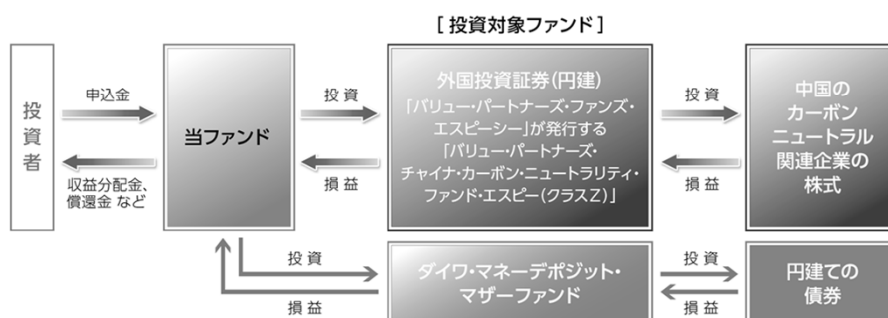
- 中国のカーボンニュートラル関連企業の株式に投資します。
 - ※ 株式にはDR（預託証券）を含みます。
 - ※ 純資産総額の30%を上限として、中国のカーボンニュートラル関連企業以外の企業の株式に投資を行なう場合があります。
 - ※ 当ファンドはカーボンニュートラル関連企業への投資であり、投資先企業が温室効果ガスを排出しないことを保証するものではありません。また、当該企業が削減した温室効果ガスが当該企業が排出した温室効果ガスを上回ることを保証するものではありません。

当ファンドにおける中国のカーボンニュートラル関連企業とは

以下①～④のうち、カーボンニュートラル関連ビジネスに直接的もしくは間接的に取り組む企業、または強固なカーボンニュートラルの方針を掲げて実践している企業をいいます。

①中国に主たる拠点を有している企業 ②中国国内の株式市場に上場している企業
 ③収益の大部分を中国であげている企業 ④主たるビジネスを中国で行なっている企業

- 中国株式の運用はバリュー・パートナーズ香港リミテッドが行ないます。
- 当ファンドは、以下の2本の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。外国投資証券を通じて、中国のカーボンニュートラル関連企業の株式に投資します。



※投資対象ファンドについて、くわしくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資対象ファンドの概要」をご参照下さい。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

投資リスク

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「株価の変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※一銘柄当たりの組入比率が高くなる場合があります。

※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

【中国A株投資に関する留意点】（2021年7月末現在）

- 上海と香港、深センと香港の株式相互取引制度（ストックコネクト）を通じた中国A株への投資においては、取引額や取引可能日の制約、長期にわたって売買停止措置がとられる可能性などにより、意図した通りの取引ができない場合があります。また、中国A株への投資の条件や制限は、今後、中国当局の裁量などにより変更となる場合があります。そのような場合、ファンドの基準価額に影響を与える可能性があります。
- QFII制度またはRQFII制度を通じた中国A株への投資においては、その制度上の規制の制約を受けます。
- 株式相互取引制度やRQFII制度における取引通貨はオフショア人民元となり、中国全土における人民元の為替レートの値動きとは乖離する場合があります。そのような場合、ファンドの基準価額に影響を与える可能性があります。
- 中国政府当局は、その裁量で中国の外貨収支残高状況等を理由とした政策変更等を行ない、中国国外への送金規制や円と人民元の交換停止などの措置をとることができます。その場合には、信託財産における円と人民元の為替取引が予定通り行なえない可能性があります。
- 中国国内における収益に対し課税されることとなった場合には、当ファンドがこれを実質的に負担する可能性があります。
- 中国の証券関連投資の法令は近年制定・改正されるものが多く、その解釈は必ずしも安定していません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

Ⅰ ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 〈上限〉3.3% (税抜 3.0%)	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 1.2375% (税抜 1.125%)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
投資対象とする 投資信託証券	年率 0.705%程度	投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
実質的に負担する 運用管理費用	年率 1.9425% (税込) 程度	
その他の費用・ 手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※ 購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせ下さい。

※ 手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※ くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご覧ください。

販売会社:

大和証券

Daiwa Securities

商号等 大和証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号
加入協会 日本証券業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用:

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

商号等 大和アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメント株式会社が作成したものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認くださいのうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。記載する投資判断は現時点のものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料中で個別企業名が記載されている場合、あくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。
- 分配金は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。